



2015年3月期
第2四半期決算説明会

2014年10月29日



目 次

1. 2015年3月期 第2四半期決算
2. 2015年3月期 通期業績予想
3. 上期主要施策と下期取り組み

1. 2015年3月期 第2四半期決算

2015年3月期 第2四半期決算 ハイライト (連結)

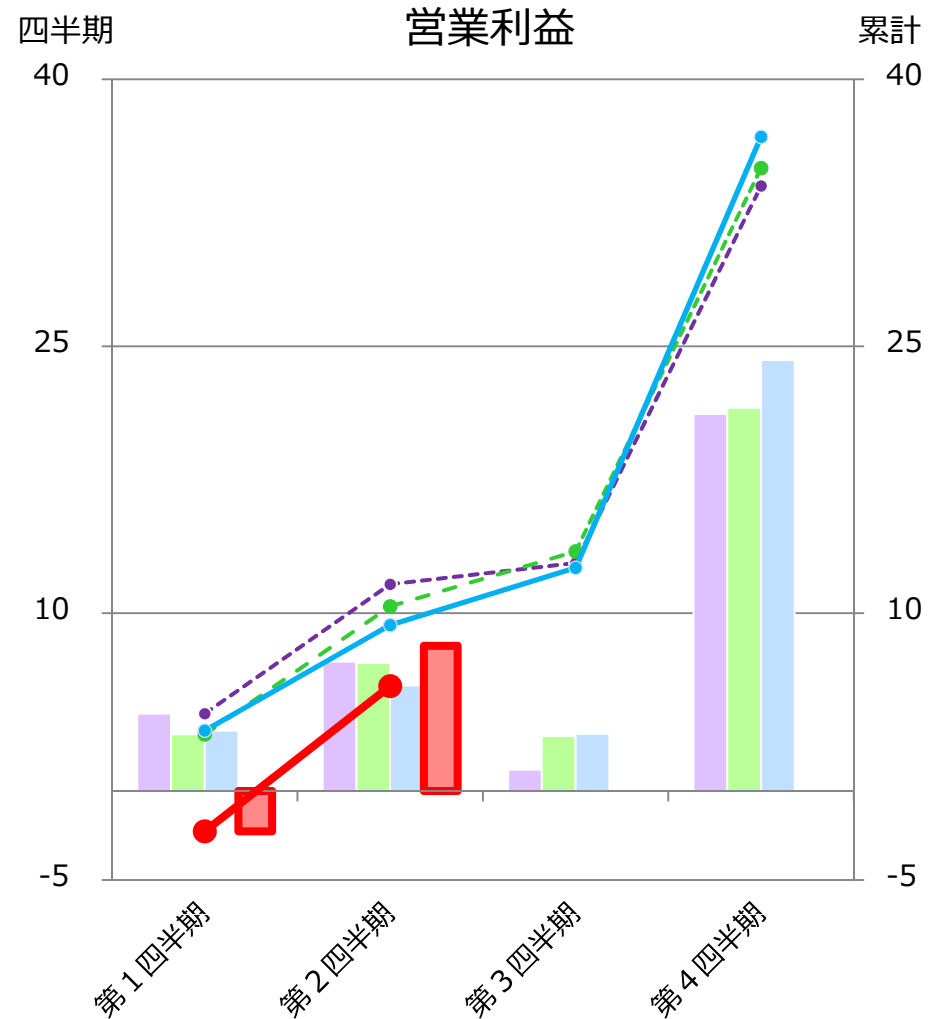
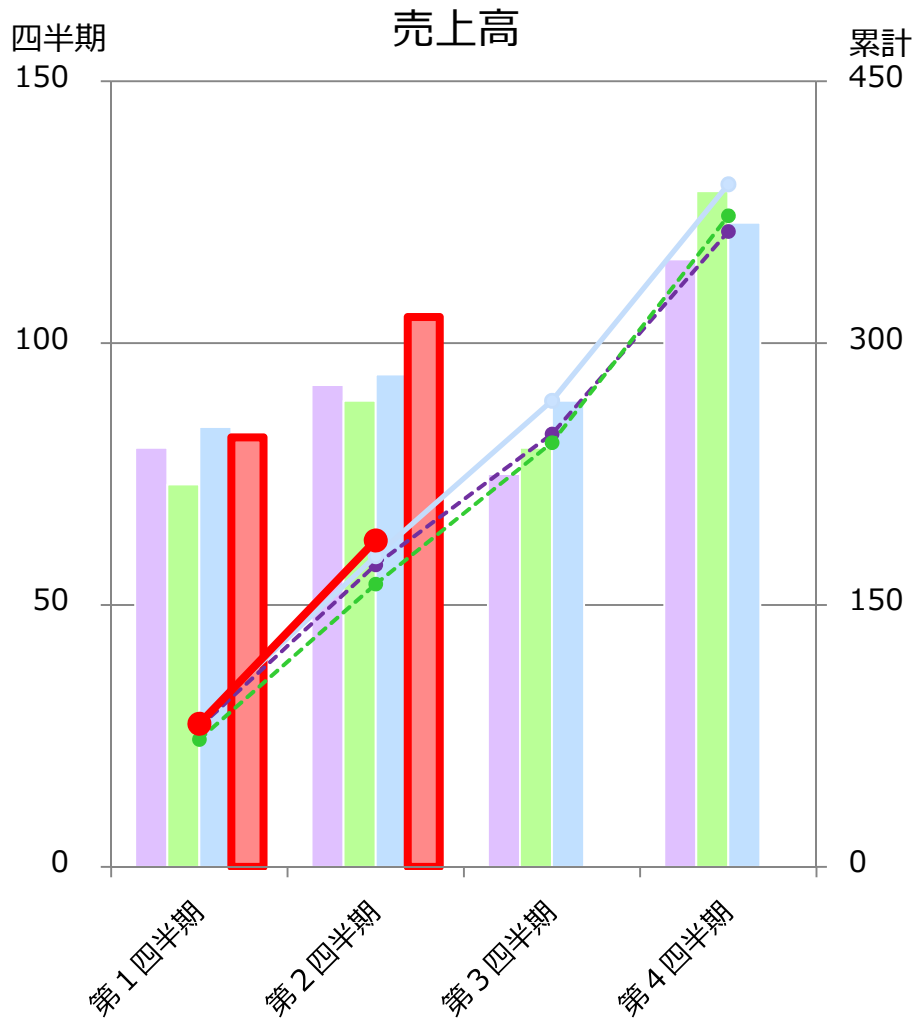
(単位：億円、%)	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	前年同期比		期初計画比	
	金額	金額	増減額	増減率	計画値	増減額
売上高	177.9	186.9	+9.0	+5.1	190.0	△3.1
営業利益 (営業利益率)	9.3 (5.2)	5.9 (3.1)	△3.4	△36.7	9.0	△3.1
経常利益	9.3	6.1	△3.2	△34.6	9.0	△2.9
四半期純利益	5.4	2.4	△3.0	△55.1	4.0	△1.6

▶前年同期比：増収減益

第1四半期に前年同期比減収減益となった業績を
過去最高売上高となった第2四半期の業績が補う

売上高および営業利益の推移

四半期 2012年3月期 2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 (単位：億円)
 累計



事業領域およびセグメントの構成

ITサービス・セグメント



ヘルスケア 事業

- ・ 病院向け
- ・ 製薬企業向け
- ・ 健康系



エンタープライズ 事業

- ・ 繊維メーカー向け
- ・ 総合商社向け
- ・ 医薬品卸向け
- ・ 携帯電話会社向け



サービスビジネス 事業

- ・ **ERP GRANDIT®**
- ・ 緊急連絡/安否確認、
コールセンター
- ・ 文書管理 その他

ネットビジネス・ セグメント



ネットビジネス 事業

- ・ 電子書籍
- ・ ソーシャルゲーム
- ・ eコマース
- ・ コンテンツ配信
女性向け、音楽系

◆重点事業：ヘルスケア事業、GRANDIT事業、ネットビジネス事業

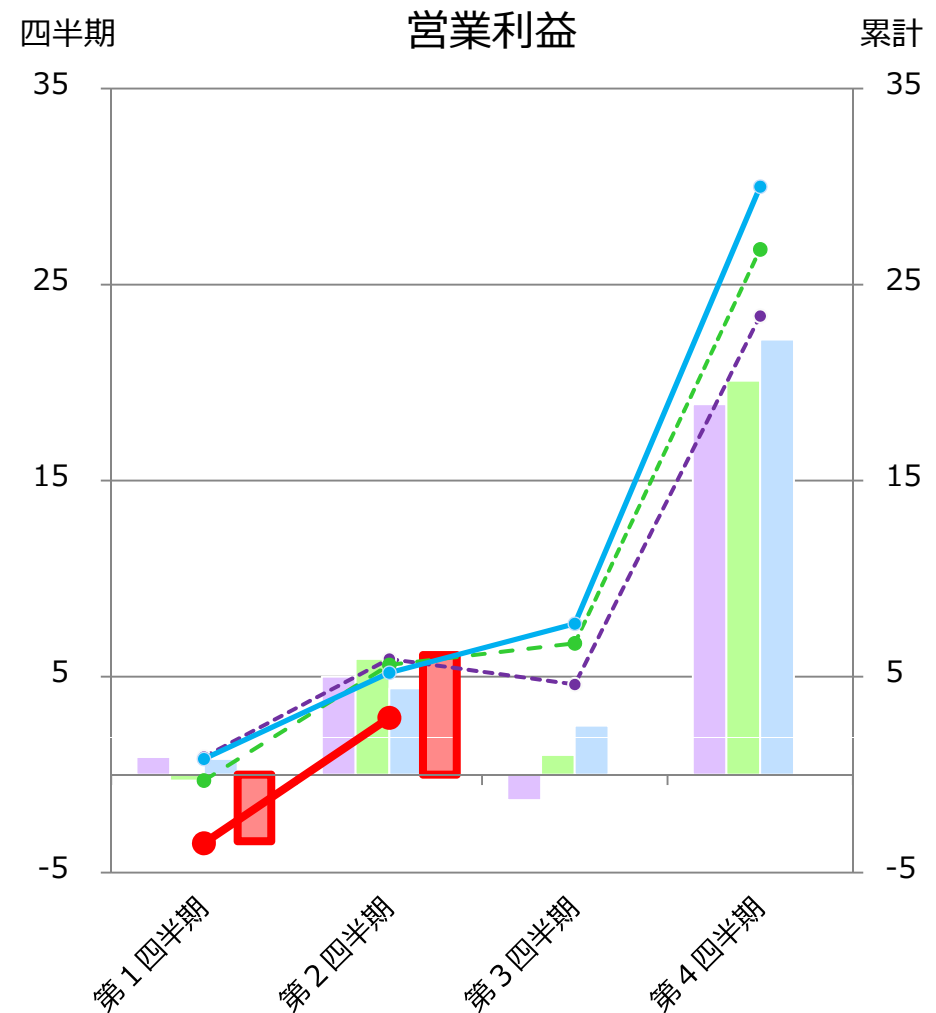
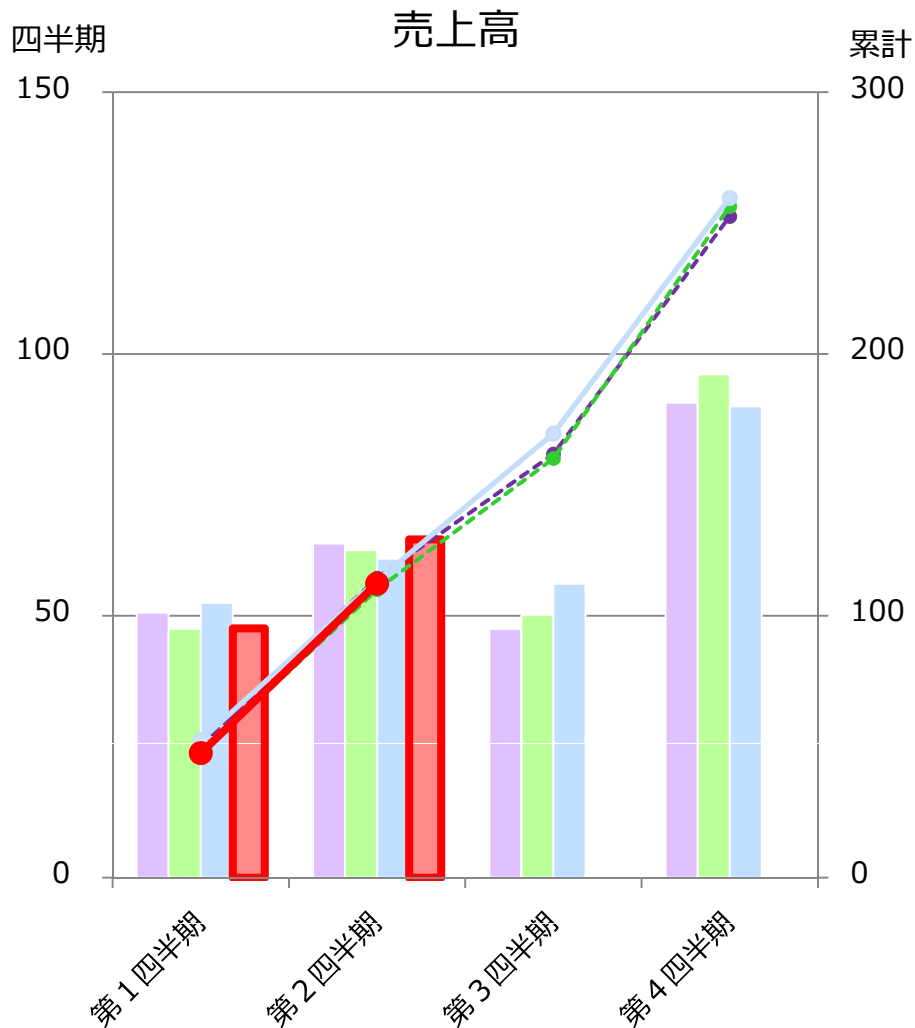
ITサービス・セグメントの業績（連結）

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	113.4	112.2	△1.2	△1.0
営業利益	5.2	2.6	△2.6	△49.0
(営業利益率)	(4.6)	(2.4)		

- 売上高 : 消費税増税前の駆け込み需要の反動を受けた病院向けシステムの減少分を他の事業が補いほぼ前期並み
- 営業利益 : 売上高を構成する各事業の比率が変わったことにより前年同期比減

ITサービス・セグメント 売上高および営業利益の推移

四半期 2012年3月期 2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 (単位：億円)
 累計

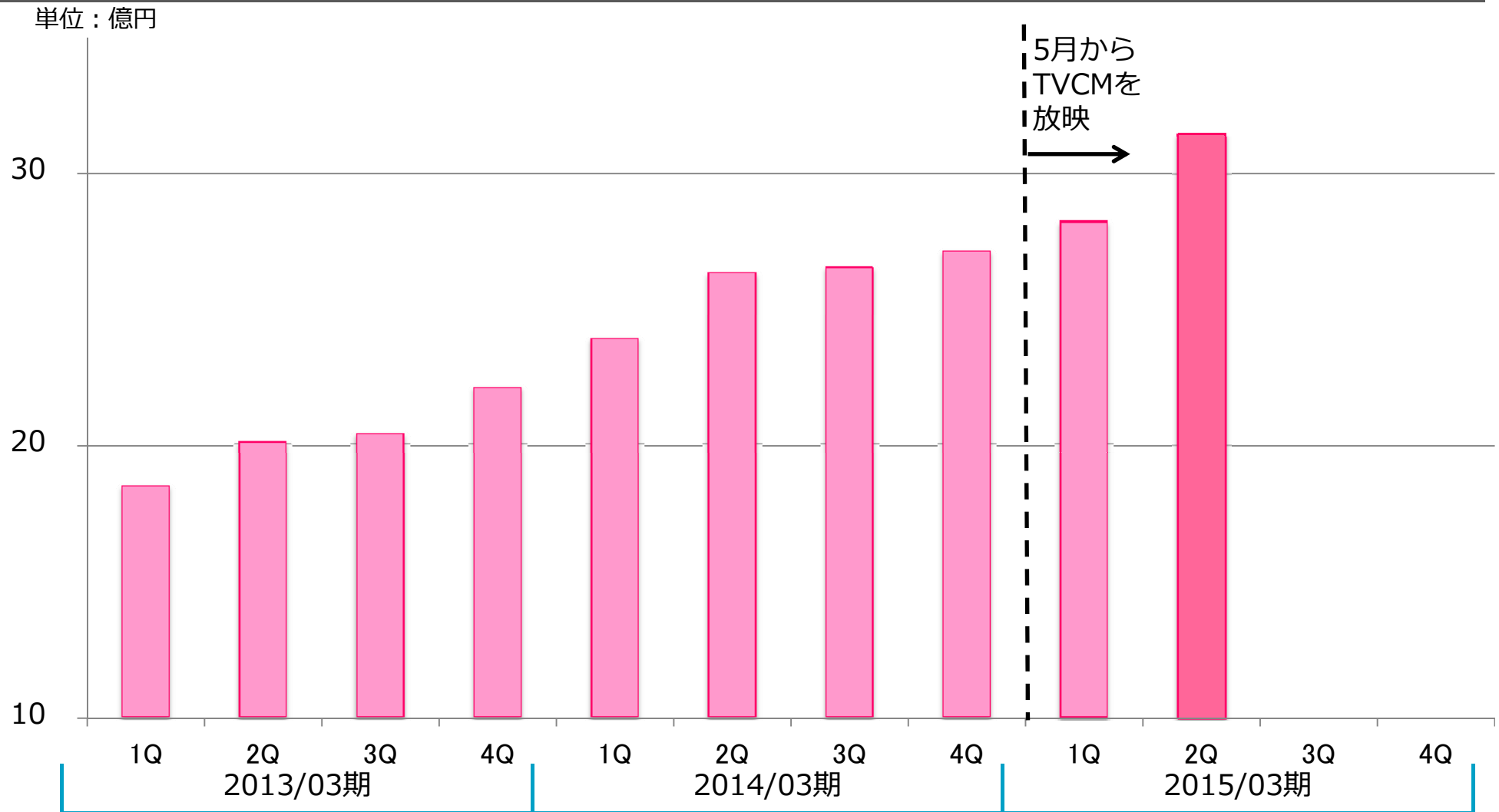


ネットビジネス・セグメントの業績（連結）

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	64.4	74.7	+10.2	+15.8
営業利益	4.0	3.2	△0.8	△20.3
（営業利益率）	（6.3）	（4.3）		

- 売上高：電子書籍配信サービスが好調
- 営業利益：電子書籍配信サービスは売上高伸長によりTVCMコスト吸収もゲームの収益化に遅れ

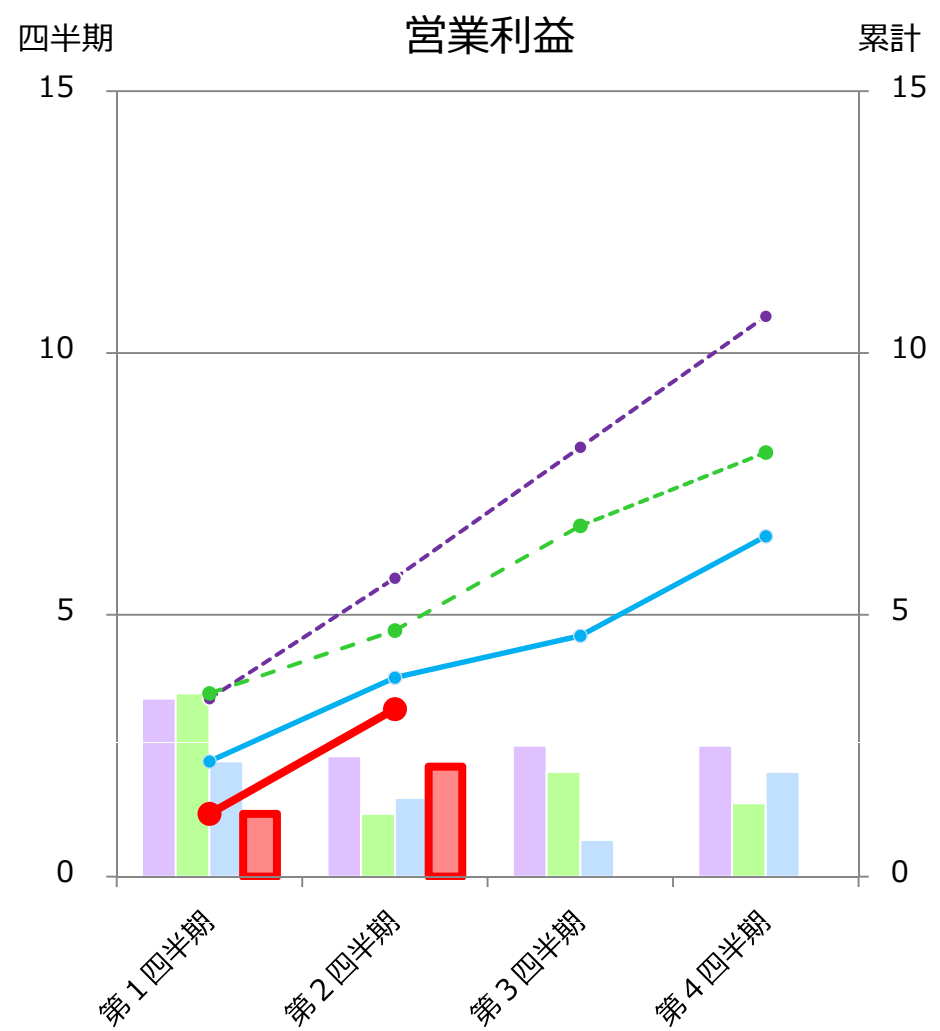
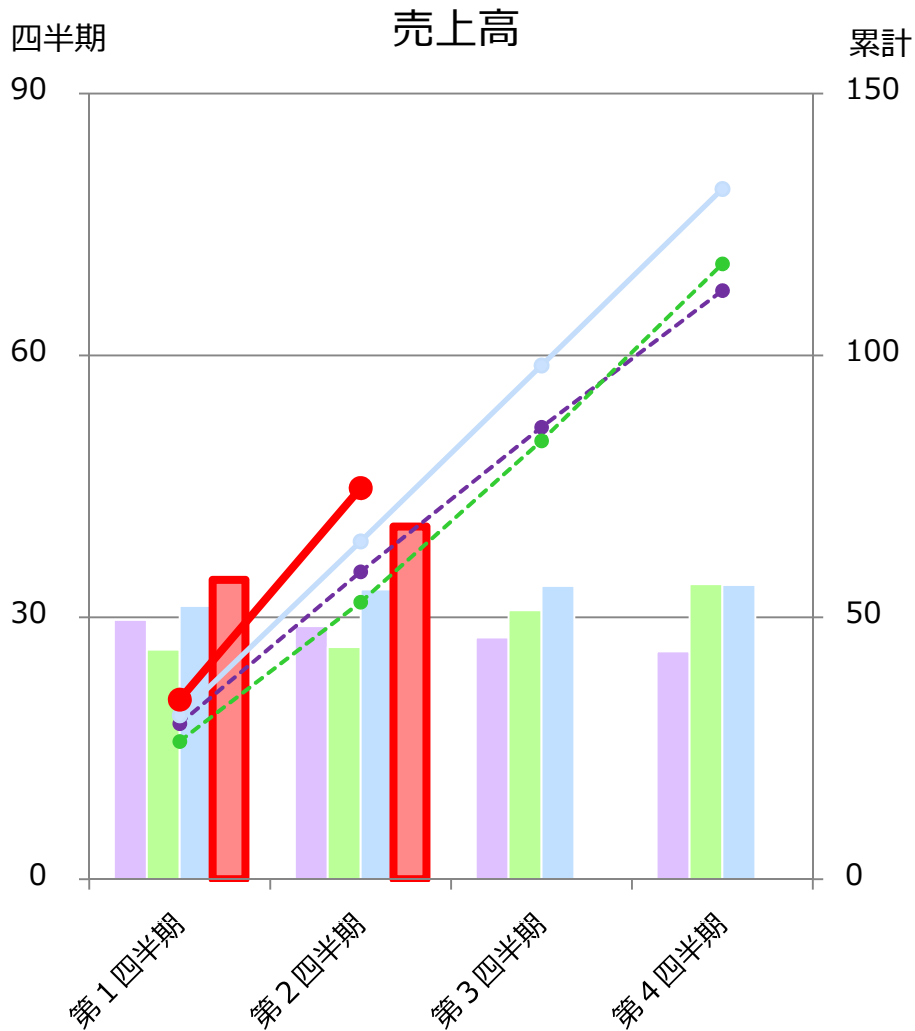
ネットビジネス事業 ～電子書籍配信サービス 業績推移～



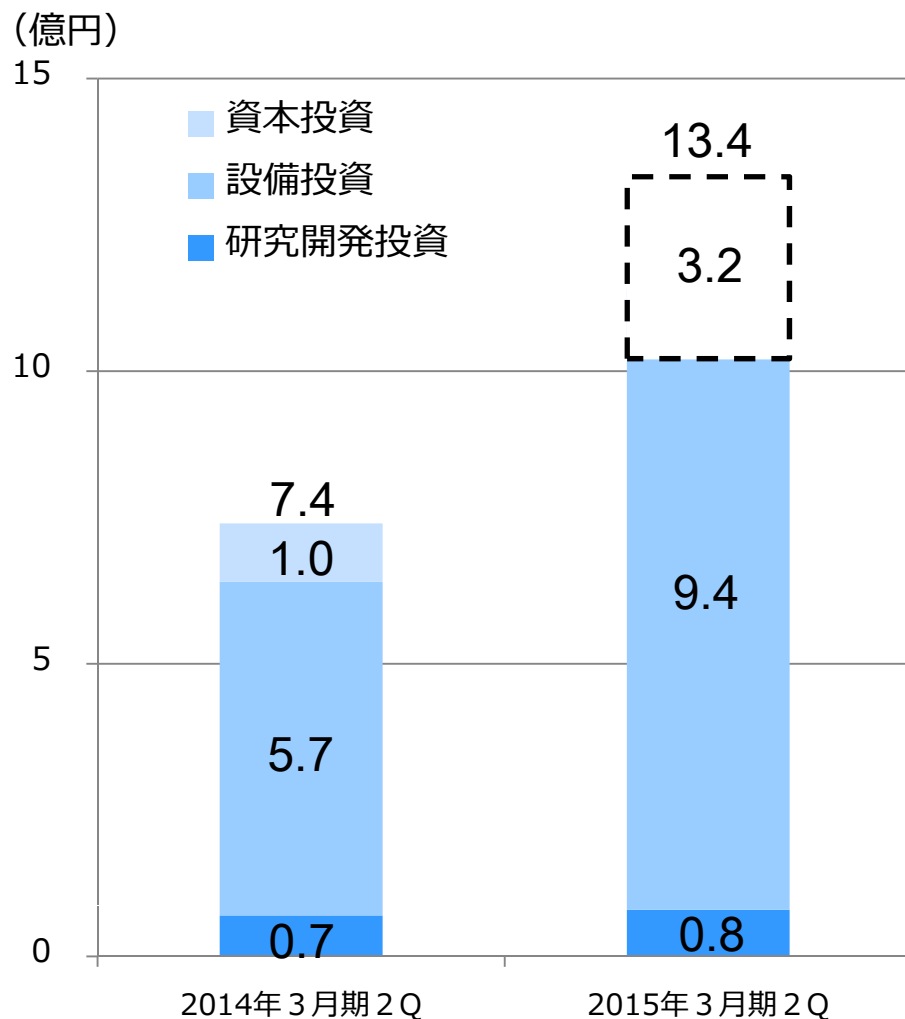
➤ 月間売上高が7月に10億円を超え好調を継続

ネットビジネス・セグメント 売上高および営業利益の推移

四半期 2012年3月期 2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 (単位：億円)
 累計



投資実績



	主な内容	(億円)
資本投資	Infocom Fund (連結子会社) 米国EverySence.Inc 米国601am など	3.2
設備投資	ヘルスケア手術映像システム ヘルスケア診療情報管理システム GRANDIT開発 デジタルコンテンツ管理システム ソーシャルゲーム など	9.4
研究開発投資	新技術開発 (全社研究) その他	0.8

➤成長加速に向けて、継続的に投資を実施

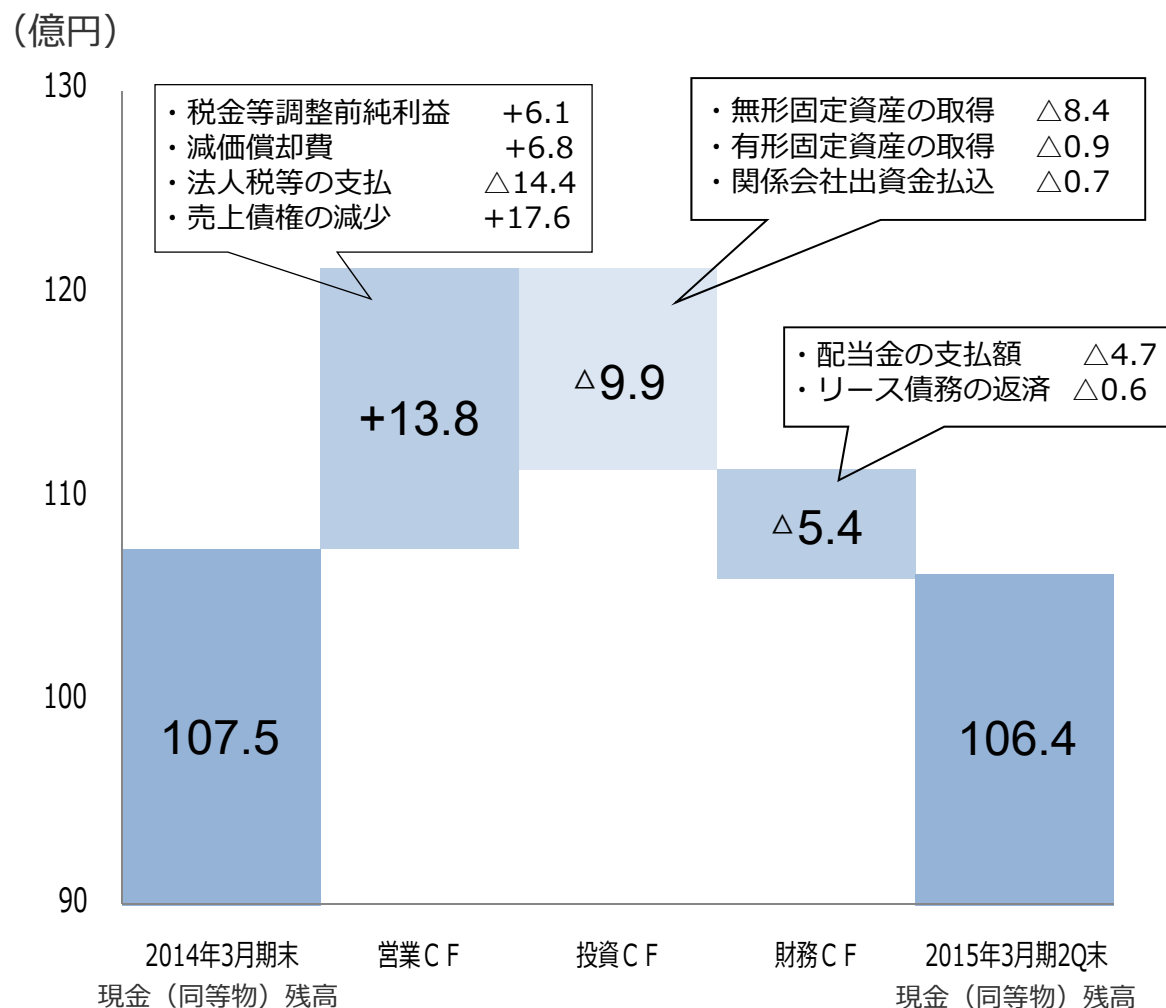
貸借対照表（連結）

（単位：億円、％）

	2014年3月期末		2015年3月期 第2四半期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	211.8	76.2	195.1	73.6	△16.7	・現金及び預金△1.1 ・受取手形及び売掛金△17.4
固定資産	66.1	23.8	69.8	26.4	+3.6	・有形固定資産△1.1 ・ソフトウェア+4.4
資産合計	278.0	100.0	264.9	100.0	△13.0	
流動負債	81.5	29.3	70.6	26.6	△10.9	・未払法人税等△10.8
固定負債	2.8	1.0	2.3	0.9	△0.4	
負債合計	84.3	30.4	72.9	27.5	△11.3	
純資産合計	193.6	69.6	191.9	72.5	△1.6	・利益剰余金△2.3
負債・純資産合計	278.0	100.0	264.9	100.0	△13.0	
自己資本比率	68.7%		71.3%			

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：億円）



	2014年 3月期 第2四半期	2015年 3月期 第2四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	11.2	13.8	+2.5
投資キャッシュ・フロー	△5.3	△9.9	△4.6
フリーキャッシュ・フロー	5.9	3.9	△2.0
財務キャッシュ・フロー	△5.3	△5.4	△0.1
現金及び現金同等物に係わる換算差額等	0.1	0.4	+0.2
現金及び現金同等物の増減額	0.8	△1.1	△1.9
現金及び現金同等物の期首残高	102.8	107.5	+4.6
現金及び現金同等物の期末残高	103.6	106.4	+2.7

➤ 上期は営業キャッシュフローのほとんどを投資と株主還元

2. 2015年3月期 通期業績予想

2015年3月期 通期業績予想（連結）

（単位：億円）

	2014年3月期 実績			2015年3月期 予想			
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	前年同期比
売上高	177.9	213.4	391.3	186.9	243.0	430.0	+38.6
営業利益	9.3	27.4	36.7	5.9	34.1	40.0	+3.2
経常利益	9.3	27.5	36.8	6.1	33.8	40.0	+3.1
当期純利益	5.4	15.0	20.4	2.4	20.6	23.0	+2.5
1株当たり 当期純利益(円)	73.98			84.13			10.14
R O E (%)	11.1			12			

- 第1四半期の状況が第2四半期で大きく改善しているため
通期業績予想は変更無し
- ITサービスは堅調に回復し、ネットビジネスは好調を維持

通期業績予想 売上高の構成

【通期業績予想】 (単位：億円)

	IT サービス	ネット ビジネス	合計
売上高	270.0	160.0	430.0
営業利益	30.0	10.0	40.0

※セグメントの状況を考慮し
売上高の構成に変更はない

【期初の通期業績予想が前提の構成】

売上高	IT サービス	ネット ビジネス	合計
上期実績	112.2	74.7	186.9
下期予想	157.8	85.3	243.1
通期予想	270.0	160.0	430.0

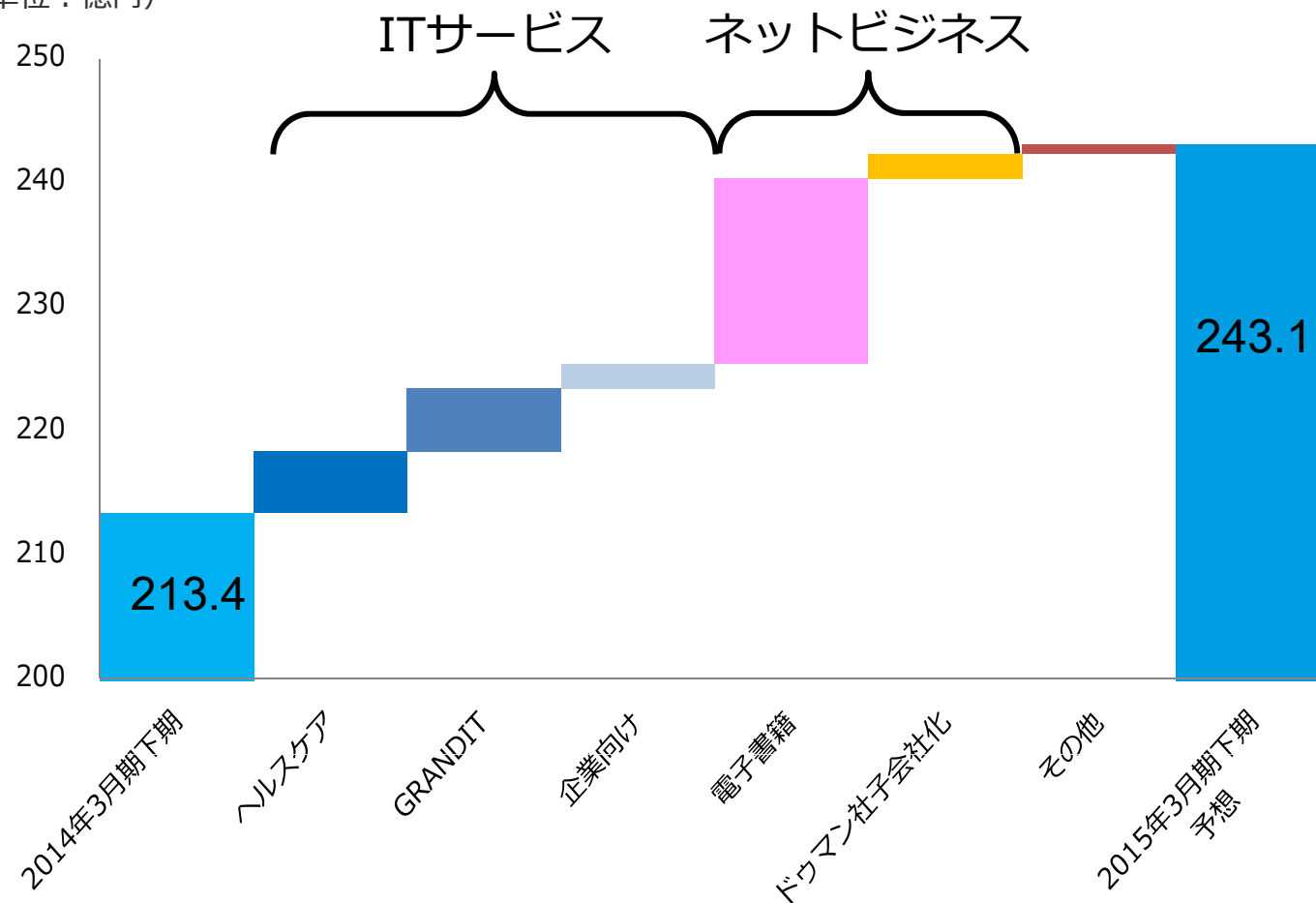
【構成に変更は無い】

売上高	IT サービス	ネット ビジネス	合計
上期実績	112.2	74.7	186.9
下期予想	157.8	85.3	243.1
通期予想	270.0	160.0	430.0

- ヘルスケア : 上期減を下期で回復し前期並みの売上高を確保
- GRANDIT : パートナーの拡充により売上高・利益増
(NTTコムウェア、CTC)
- ネットビジネス : 電子書籍が好調継続、eコマースの構造改革効果
ゲーム事業の見直しによるコスト圧縮

通期業績予想 下期売上高

(単位：億円)



◆前期比 +30億

[ITサービス]

- **ヘルスケア**
上期減を下期で回復
前年並み確保
- **GRANDIT**
パートナーの拡充効果
- 企業向け製品サービス
微増

[ネットビジネス]

- **電子書籍**
好調継続 (上期+10億)
- **eコマース**
ドゥマン社連結子会社化

通期業績予想 営業利益の構成

【通期業績予想】 (単位：億円)

	IT サービス	ネット ビジネス	合計
売上高	270.0	160.0	430.0
営業利益	30.0	10.0	40.0

※通期業績予想の変更はないが
セグメントの状況を考慮した
新たな利益構成を予想

【期初の通期業績予想が前提の構成】

営業利益	IT サービス	ネット ビジネス	合計
上期実績	2.6	3.2	5.9
下期予想	27.4	6.8	34.1
通期予想	30.0	10.0	40.0

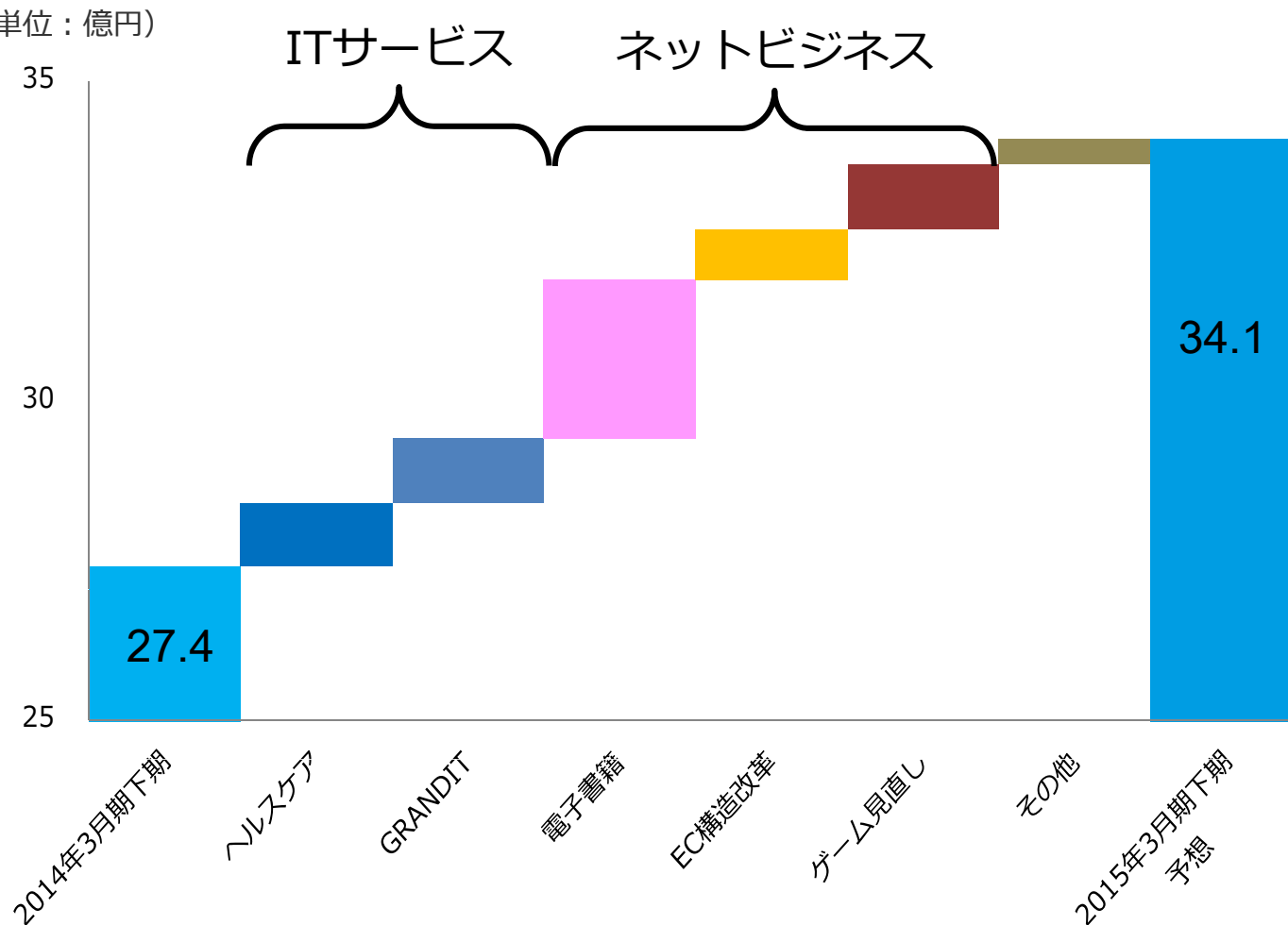
【新たな構成】

営業利益	IT サービス	ネット ビジネス	合計
上期実績	2.6	3.2	5.9
下期予想	25.6	8.6	34.1
通期予想	28.2	11.8	40.0

- ヘルスケア : 上期減を下期で回復し前期並みの売上高を確保
- GRANDIT : パートナーの拡充により売上高・利益増
(NTTコムウェア、CTC)
- ネットビジネス : 電子書籍が好調継続、eコマースの構造改革効果
ゲーム事業の見直しによるコスト圧縮

通期業績予想 下期営業利益

(単位：億円)



◆前期比 + 6億超

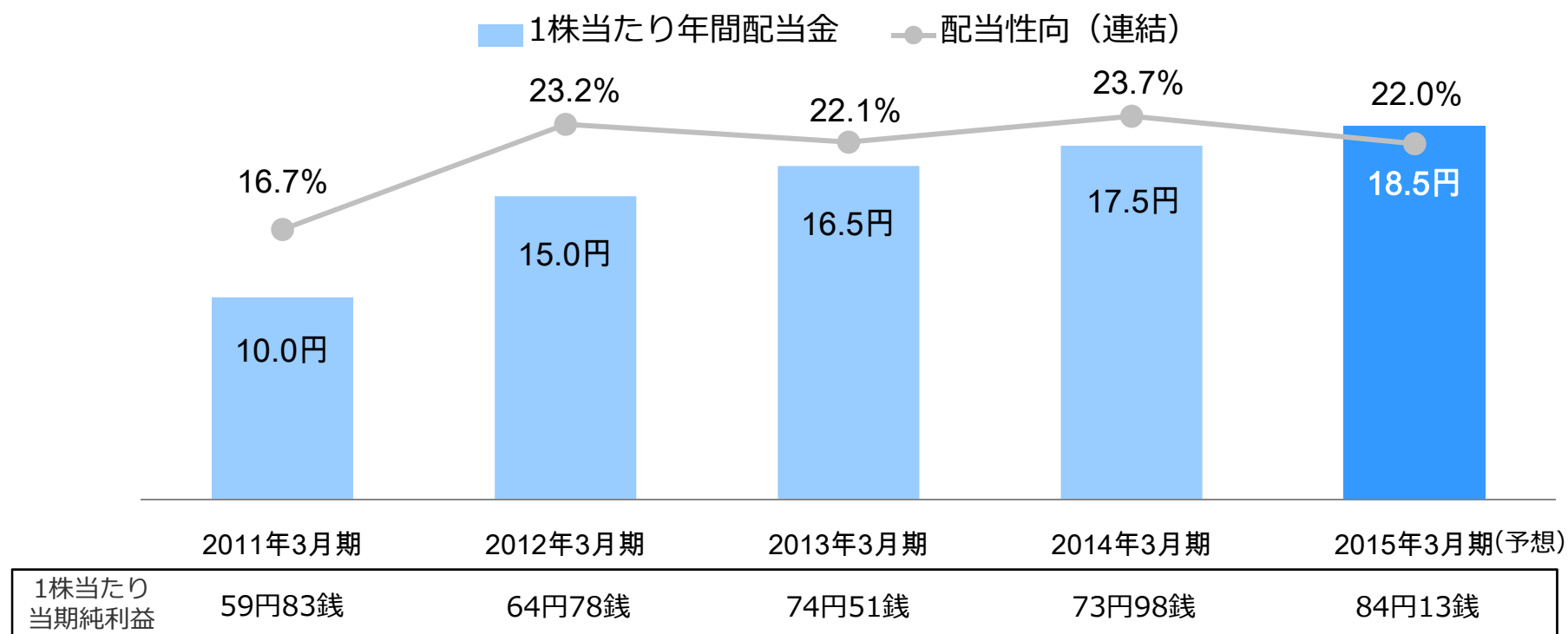
[ITサービス]

- **ヘルスケア**
製品ライセンスの貢献
- **GRANDIT**
製品ライセンスの貢献

[ネットビジネス]

- **電子書籍**
売上高増
上期対比でCMコスト減
- **eコマース**
構造改革効果発現
- **ゲーム**
事業を見直しコスト圧縮

株主還元



(注) 当社は、2013年10月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。
株式分割前の1株当たり年間配当金および1株当たり当期純利益は株式分割を考慮した数値に修正しております。

- 配 当 : 2015年3月期は1円の増配を予定 (変更無し)
- 自己株式取得 : 必要に応じて機動的に実施予定
- 株主優待 : 2014年9月30日現在の株主名簿記載の1単元以上保有株主様を対象に実施 (11月末案内予定)

3. 上期主要施策と下期取り組み

重点3事業

ネットビジネス

- ・ 電子書籍
- ・ ソーシャルゲーム

ヘルスケア

- ・ 病院向け
- ・ 製薬企業向け
- ・ 健康系新サービス開発

GRANDIT (グランディット)

- ・ ERPパッケージ
(統合業務ソフトウェアパッケージ)

ネットビジネス事業 ～電子書籍配信サービス 上期主要施策～



(スマートフォン画面)

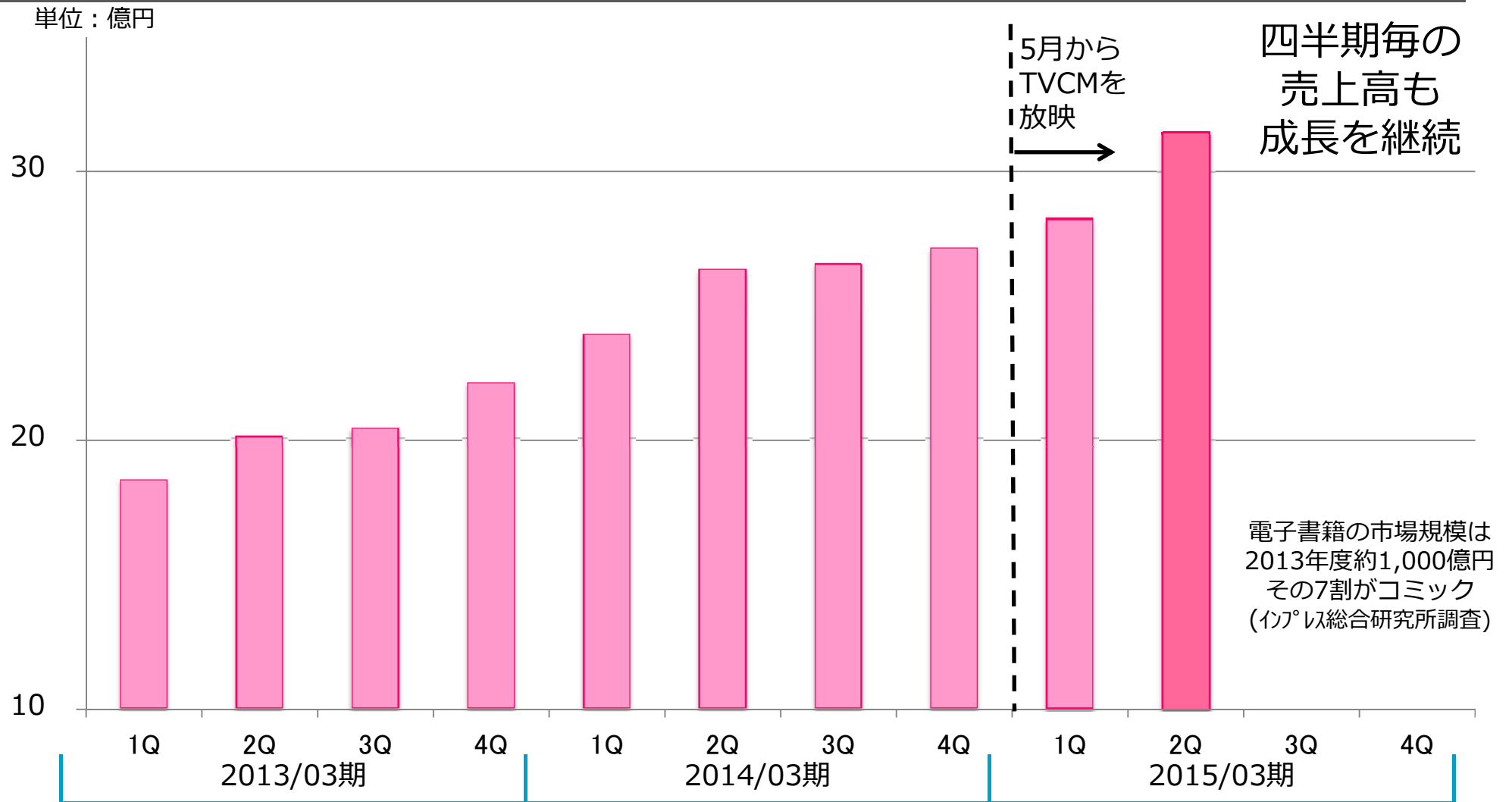
めちゃコミック



(テレビコマーシャルの1場面)

- 一般コミックの拡充や無料コミックの増量
- TVCMによる新規顧客層の開拓
- TVCMに連動したWEB広告展開

ネットビジネス事業 ～電子書籍配信サービス 業績推移と取り組み～



- 月間売上高が7月に10億円を超え好調を継続
- 年末年始に「めっちゃコミック」TVCMを実施

ネットビジネス事業 ～上期主要施策と下期取り組み～

➤ eコマース

- ドウマン社の連結子会社化
- EBS社のファッション事業をドウマン社に譲渡
- 物流コストの大幅削減

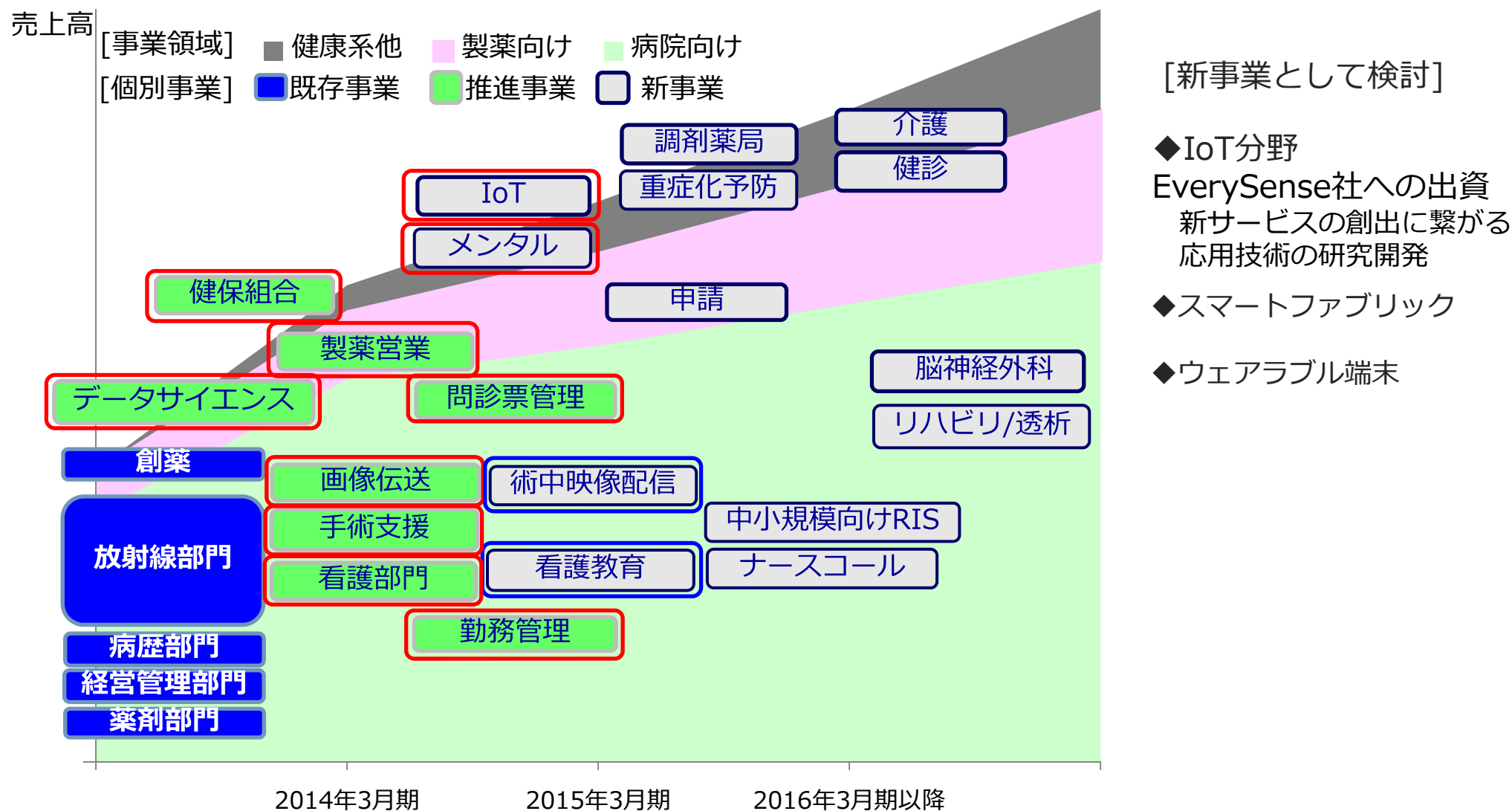


➤ ゲーム配信サービス

- イストピカ社の構造改革を実施



ヘルスケア事業 ～上期主要施策と下期取り組み～


















[新事業として検討]

- ◆IoT分野
EverySense社への出資
新サービスの創出に繋がる
応用技術の研究開発
- ◆スマートファブリック
- ◆ウェアラブル端末

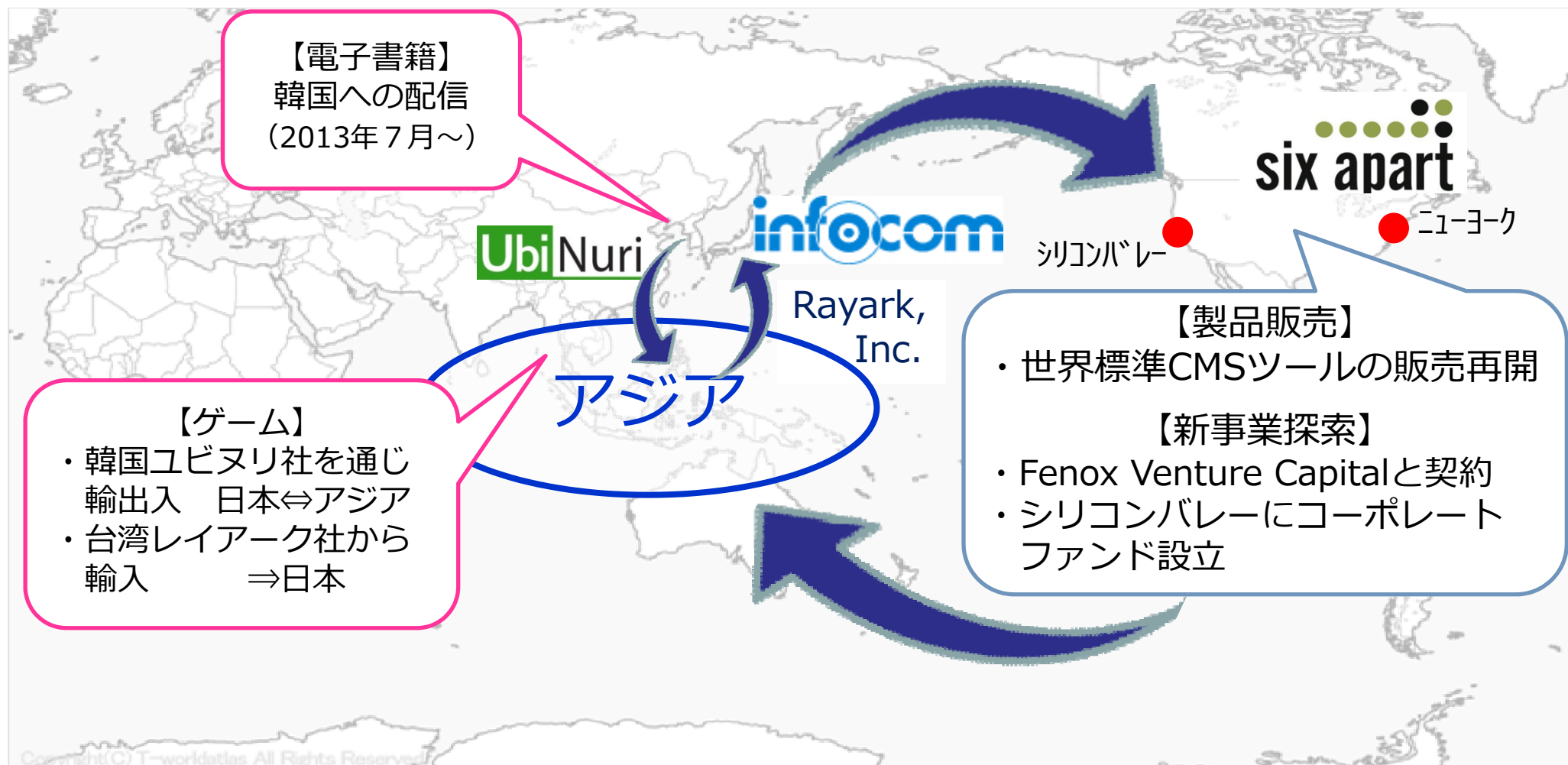
➤ 既存事業の強化、推進事業の拡充、新事業の展開

GRANDIT事業 ～上期主要施策と下期取り組み～

<p>提携 パッケージ ソフトウェア</p>	 連結決算 パッケージ	 営業支援 パッケージ	 人事考課 パッケージ	<p>アライアンスパートナー20社</p>		
<p>提携 開発販売 パートナー</p>	<p>ビジネスパートナー43社</p>				 キヤノンITソリューションズ株式会社	
						
	<p>コンソーシアム14社</p>					
		 パナソニック インフォメーションシステムズ(株)	 NECソリューションズ(株)			
<p>インフラ</p>	<p>ゼネラルパートナー 3社</p>					

- データ分析機能を強化した新バージョンを開発
- NTTコムウェア、CTCがパートナーに加盟し体制強化

海外展開



- アジア市場：電子書籍、ゲームなどのデジタルコンテンツを流通
- 北米市場：Movable Type (ムバブルタイプ)の販売再開、新事業の探索

新規事業開発に向けた取り組み

➤ 事業推進コーポレートファンド「Infocom Fund」設立



[拠点] 米国シリコンバレー
[ファンド総額] 約20億円
[設立の目的]

- ・ ITサービスに関する最先端技術や革新的なビジネスモデルを有するスタートアップ企業の発掘、支援
- ・ 米国をはじめとした先進国市場だけでなく、成長著しいアジア新興国市場へのグローバルな事業展開

[投資対象] インターネット、ソフトウェア、その他成長技術、小売分野における米国、東南アジア、東アジアを中心とする世界のアーリーステージ企業
[パートナー] Fenox Venture Capital

担当窓口

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料で取り扱う数値は原則億円単位としており、経営指標や増減率については一部を除き億円単位の数値で算出しています。

本資料は一部を除き2014年9月30日現在のデータに基づいて作成しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性や完全性を保証、約束するものではなく、また今後予告なしに変更させていただくことがあります。



問い合わせ先

インフォコム株式会社

広報・IR室長 田中新也

TEL : 03-6866-3160